令和 7 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	環境に配慮したまちづくり
施策No.	8	施策名	快適な生活環境の保全
主管課名	生活環境課		
関係課名	都市計画課		

10年後の目指す姿	公害のない安全で快適な生活環境が維持され、まちの美観が保たれています。

施策の現状及び課題	現　状	・事業所の排水検査、河川水質調査、地下水水質調査、自動車騒音常時監視調査等を実施し、環境基準等が守られ、生活環境が良好に保たれているかを確認しています。 ・魚津市空家等対策の推進に関する条例に基づき、魚津市空家等対策計画を策定し、空家対策に取り組み、付近住民が安心できる環境を整備しています。
	課　題	・公害が発生すると、人の健康や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあるので、環境の状況を把握し注視していく必要性があります。 ・日常生活に密着した悪臭、近隣騒音、生活排水による水質汚濁、害虫被害など近隣公害が増加しており、市民一人ひとりが周囲の環境に対する意識を高めていくことが必要です。

施策を進めるための役割分担	行　政	・環境監視体制の充実、指導、パトロールの強化と環境保全や啓発活動を行います。 ・空家等の予防の促進、適正管理の喚起や利活用の推進を行います。
	市　民 ・ 事業所	・環境問題に配慮し、近隣の迷惑にならないように悪臭、騒音、害虫の発生などに留意します。 ・空家等の管理を適切に行います。 ・地域住民が協力して、美しい街並みを維持します。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	快適な住環境の整備
	基本事業②	環境美化・保全活動の推進
	基本事業③	
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	7 (4)	7 (4)	7 (4)	7 (4)	6 (3)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	3 (1)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費 （事務事業の事業費合計）	千円	4,077	4,847	4,464	7,321	4,426	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	3,709	4,553	4,112	6,940	4,168	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	368	294	352	381	258	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	9	9	10	8	7	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	1,800	1,440	1,480	900	1,040	
	E. 人件費 （D×1時間あたりの平均人件費）	千円	7,061	5,581	5,855	3,694	4,423	
	F. トータルコスト （B＋E）	千円	11,138	10,428	10,319	11,015	8,849	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 （定義式 ： B／人口 ）	円	101	121	114	190	116	
	同　上 H. 人件費 （定義式 ： E／人口 ）	円	174	140	149	96	116	
	同　上 Ⅰ. トータルコスト （定義式 ： F／人口 ）	円	275	261	263	285	233	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	8	施策名	快適な生活環境の保全
基本事業名		①快適な住環境の整備	
基本事業の目的(意図)		大気汚染、水質汚染、騒音などを監視し、衛生的な住環境を整えるとともに、空家・空地対策等を進め、快適な生活環境をつくります。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【公害防止対策事業】 ・日本カーバイド工業(株)魚津工場及びヌヴォトンテクノロジージャパン(株)魚津工場の排水検査を実施しました。また、地下水位常時観測(5か所)、河川水質調査(鴨川、角川、片貝川)、地下水水質調査、自動車騒音常時監視調査、環境騒音調査等を実施し、環境基準等が守られ、生活環境が良好に保たれていることを確認しました。 ・市民からの公害苦情等があった時には、現地調査を行うとともに改善等の指導を行いました。 ・北陸新幹線の騒音に係る「環境基準の類型」「測定」等について協議する『北陸新幹線環境基準連絡会議』(県生活環境文化部主催)に参加し、「環境基準の類型」見直し作業の実施、調査結果等について情報共有しました。 ・PM2.5や光化学オキシダントの注意報等の発生に備え、県や関係各課等との緊急時情報伝達訓練を実施しました。 【空家対策支援事業】(再掲) ・空家の実態を把握するための空家実態調査を実施しました。 ・空家等対策審議会を3回開催し、第3次魚津市空家等対策計画(R8年度～R12年度)を策定しました。 ・特定空家3件について、改善に向けた指導を継続して行いました。 ・管理不全な空家の解体を促進するため、9件の危険老朽空家の所有者に対し、解体工事費用の一部を助成しました。 ・空家・空地情報バンクを活用して、所有者と利用希望者の契約が40件(前年度27件)成立しました。 ・令和6年度から開始した100円空き家バンクを活用して、所有者と取得希望者の売買が2件(前年度4件)成立しました。 ・空き家の利活用を推進するため、空家リフォーム支援事業14件(前年度3件)、空家家財道具等処分支援事業25件(前年度10件)、100円空き家利活用支援事業4組について支援しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
典型7公害の苦情受付件数	件	26	23	23	22	21	20	19	13
				27	20	15	18	12	
河川の水質調査結果が環境基準を達成している割合	%	100	100	100	100	100	100	100	100
				100	100	100	100	100	
管理不全な空家数 (魚津市空家実態調査)	戸	248	－	248	248	248	248	248	248
				270	287	212	241	265	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) －:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		狂犬病予防対策事業	703,000	619,409	83,591	0	－	生活環境課
2	一般会計		公衆浴場衛生設備改善補助事業	44,348	0	44,348	0	－	生活環境課
3	一般会計	○	公害防止対策事業	3,890,000	3,548,175	341,825	0	A	生活環境課
4	一般会計		環境衛生推進事業(施策9②再掲)	(1,821,652)	(1,753,604)	(68,048)	(0)	－	生活環境課
5	一般会計		し尿収集事業(施策9②再掲)	(27,158,000)	(26,942,736)	(215,264)	(0)	－	生活環境課
6	一般会計	○	空家対策支援事業(施策32①再掲)	(28,701,000)	(23,497,773)	(5,203,227)	(0)	A	都市計画課
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合　計				4,637,348	4,167,584	469,764	0		

基本事業概要シート②

施策No.	8	施策名	快適な生活環境の保全
基本事業名		②環境美化・保全活動の推進	
基本事業の目的(意図)		市民や事業者が主体的、自主的に快適な生活環境や美しい景観を保全するための取組が行われるよう啓発します。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【環境保全活動推進事業】 ・地区清掃等に取り組むボランティア団体に対し、ごみ袋を配布し、集積されたごみの回収を行いました。 ・市内の環境保全活動に取り組む団体に対し、「環境保全活動支援事業補助金」を交付しました。(1団体に100千円) 【環境保全啓発事業】(再掲) ・環境フェスティバル(〇〇魚津と同時開催)を10/18(土)・19(日)の2日間開催しました。企業や団体の環境保全に係る様々な取組を紹介し、環境保全に対する意識の啓発に努めました。 ・環境教育として、環境保全ポスターコンクール、エコライフ指導等を実施しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
ボランティア清掃件数 (市へのごみ収集依頼件数)	件	218	194	210	215	220	225	230	250
				198	206	209	201	191	

基本事業を構成する事務事業の実績(〇:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	予算なし		墓地経営許可・改葬許可事務	0	0	0	0	-	市民課
2	一般会計	〇	環境保全活動推進事業	412,000	257,603	154,397	0	B	生活環境課
3	一般会計	〇	電子地域通貨事業	200,000	0	200,000	0	B	生活環境課
4	一般会計	〇	環境保全啓発事業(施策7②再掲)	(628,000)	(595,979)	(32,021)	(0)	B	生活環境課
5	一般会計	〇	空家対策支援事業(施策32①再掲)	(28,701,000)	(23,497,773)	(5,203,227)	(0)	A	都市計画課
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合計				612,000	257,603	354,397	0		

施策No.	8	施策名	快適な生活環境の保全

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①快適な住環境の整備】
◆近年、典型7公害の苦情件数は概ね10～30件前後で推移しています。令和7年度（6年度）の公害苦情件数は12（18）件であり、大気汚染が5（5）件、水質汚濁が3（9）件、騒音・振動が4（2）件、悪臭が4（2）件、土壌汚染0（0）件となっています。
◆河川の水質については、下水道や合併処理浄化槽が整備、普及されたことや、市民団体等による環境保全活動が行われていることなどから、環境基準を満たし、水質は保全されています。
◆近年、光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）などの大気汚染物質の低減が求められています。
◆し尿収集事業については、水洗化率の向上に伴い、し尿収集量は減少傾向にあり、令和7年度は、910,530リットルで前年度より3.2%減少しています。
◆令和7年度の空家実態調査の結果、令和6年度から94戸の空家が解消され、新たに197戸の空家が発生しており、令和6年度から103戸の空家が増加しています。
◆まちなかでは人口の空洞化の進行と並行して、空家も多くなっています。
◆空家・空地情報バンク制度は空家を利用したい人の問い合わせが多い状況です。（利用者登録件数 令和元年度：67件、令和2年度：69件、令和3年度：76件、令和4年度：92件、令和5年度：51件、令和6年度83件、令和7年度84件）
◆管理不足な空家数が増加しています。（令和元年度：248戸、令和3年度270戸、令和4年度287戸、令和5年度212戸、令和6年度241戸、令和7年度265件）

【②環境美化・保全活動の推進】
◆環境保全基金を活用した補助金の交付を受けて環境保全活動に取り組む団体は、令和2、3年度は2団体、令和4年度及び令和5年度は1団体、令和6年度は2団体、令和7年度は1団体に留まっています。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①快適な住環境の整備】
＜公害防止対策事業＞
◆事業所や北陸新幹線の騒音等について、関係者・関係機関等と連携し早期解決を図りました。
◆野焼きや灯油の流出事案については、消防・警察と連携し、発生源への指導や流出拡大の防止に努めました。
＜空家対策支援事業＞（再掲）
◆特定空家3件について、早期の改善に向けた所有者や相続人等との協議を継続して行いました。
◆危険老朽空家の所有者9名に対し解体工事費用の一部を助成し、管理不足な空家を削減しました。
◆空家・空地情報バンク登録物件の購入者14名に対しリフォーム工事費用の一部を助成し、空家の利活用を進めました。
◆空家・空地情報バンクについて、固定資産税の納付通知書に空家対策支援制度に関するチラシを同封して周知を図り、登録を促進しました。新たに67件の登録があり、40件の契約が成立しました。
◆令和6年度から開始した100円空き家バンクを活用して、所有者と取得希望者の売買が2件成立しました。

【②環境美化・保全活動の推進】
＜環境保全活動推進事業＞
◆地区清掃等に取り組むボランティア団体に対し、ごみ袋の配布や、集積されたごみの回収を行うことで、継続的な清掃活動の推進、地域の環境美化につながりました。
◆環境保全活動に取り組む団体に対し環境保全基金を活用した補助金（1団体あたり上限10万円）を交付し、市民の自主的かつ継続的な環境保全活動の推進を図りました。
＜環境保全啓発事業＞（再掲）
◆環境フェスティバル（〇〇魚津と同時開催）を10/18（土）・19（日）の2日間開催しました。企業や団体の環境保全に係る様々な取組を紹介することで、環境保全に対する意識を啓発することができました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①快適な住環境の整備】
◆典型7公害（大気、水質、騒音、振動、悪臭、土壌、地盤）防止のための各種調査、指導等を行っていくとともに、環境監視に努めます。また、市民一人ひとりが周囲の環境に対する意識を高めていくように啓発を行っていきます。
◆北陸新幹線による騒音等に関しては、県や沿線市町村、鉄道運輸機構、JR西日本で組織する『北陸新幹線環境基準連絡会議』に参加し、その対応や対策について注視していきます。
◆PM2.5や光化学オキシダントの注意報等の発生に備え、引き続き関係各課等との伝達訓練を実施するとともに、健康への影響を防ぐため、市民への注意喚起等適切な情報提供に努めていきます。
◆第3次魚津市空家等対策計画（R8年度～R12年度）で定めた「予防の促進」、「適正な管理の喚起」及び「利活用の推進」の3つの取組方針に基づき、空家・空地情報バンク、100円空き家バンクの活用を促します。
◆住民が地区の空家の課題について考え、行動する機運の醸成を図るために、地区別の空家セミナーを開催します。
◆管理不足な空家の所有者へ対して助言、指導を行い、改善されなければ空家等対策審議会へ管理不全空家や特定空家の認定について意見を聴きます。
◆空家等管理活用支援法人の指定を視野に入れながら、地元不動産業界との連携強化を図ります。

【②環境美化・保全活動の推進】
◆引き続き、環境保全基金の活用による環境保全活動団体への支援、環境フェスティバルの開催、環境教育として環境保全ポスターコンクールやエコライフ指導等の環境保全事業を実施し、市民等の環境保全意識の高揚及び環境保全活動の推進を図ります。
◆海岸で活動している団体への海岸清掃の呼びかけなど、市民の継続的な環境保全活動につながる取組を実施します。
◆漂着ごみ対策として各地域や企業、学校、ボランティア団体等で、海岸を清掃して頂いている団体に対し、ごみ袋を配布し、集積されたごみの回収を行います。また、県の補助を活用しながら手作業では回収できない海岸漂着流木等の撤去を行います。